

開講時間数についての試算

■ 趣旨

保育士養成課程改正案では現行の総修得単位数68単位を維持しているが、授業形態（講義、演習、実習）の設定により、開講時間数の変更が見込まれる。以下は、変更の程度の目安として試算するものである。

■ 前提

- ◇ 指定保育士養成施設は必ずしも学校教育法に規定された学校（大学等）ではないが、多くの養成施設は学校であるので、時間数の換算において大学設置基準を参照する。

【大学設置基準】

（単位）

第21条

各授業科目の単位数は、大学において定めるものとする。

- 2 前項の単位数を定めるに当たっては、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

- 一 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で大学が定める時間の授業をもって1単位とする。

- 二 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で大学が定める時間の授業をもって1単位とする。ただし、芸術等の分野における個人指導による実技の授業については、大学が定める時間の授業をもって1単位とすることができる。

- 三 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前二号に規定する基準を考慮して大学が定める時間の授業をもって1単位とする。

- 3 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

- ◇ 前項から、単位時間の設定は学校の裁量により幅を持つことになるが、ここでは、比較的多く取られている設定であると思われる、1単位を講義15時間、演習及び実技30時間、実習45時間として計算する。なお、下表では、講義2単位15コマ、演習1単位15コマとして計算する。

（ただし、大学における Semester 制の広がりにより、演習2単位を1 Semester = 15コマで実施するケースが増えている可能性がある。）

- ◇ 選択必修科目については、現行 = 講義4単位及び演習4単位、改正案 = 講義2単位及

び演習 4 単位ずつ履修するという仮定で計算する。

◇ 教養科目については、「体育（講義）」1 単位及び「体育（実技）」1 単位がそれぞれ、事実上 15 コマずつを費やしているケースが比較的好く見られるためそのように換算し、その他 6 単位は講義 3 科目として計算する。

◇ 実習については、学外実習以外の授業時間について計算し、「(5 単位) 1 単位 15 コマ」などと示す。現行の「小児保健」のうち実習 1 単位は便宜的に演習に組み入れて 15 コマとして計算する。

■ 試算

表

選択・必修	授業形態	現 行	改正案
必修	講義	24 単位 180 コマ	22 単位 165 コマ
	演習	21 単位 315 コマ	23 単位 345 コマ
	実習	(5 単位) 1 単位 15 コマ	(6 単位) 2 単位 30 コマ
選択必修	講義	4 単位 30 コマ	2 単位 15 コマ
	演習	4 単位 60 コマ	4 単位 60 コマ
	実習	(2 単位) 0 単位 0 コマ	(3 単位) 演習 1 単位 15 コマ
教養	—	8 単位 75 コマ	8 単位 75 コマ
合計		68 単位 675 コマ	68 単位 705 コマ
時間割上の授業の数 (学外実習以外)		45	47

※設置を要する単位数…合計 79 単位以上

保育実習以外の選択必修科目…17 単位以上

保育実習の選択必修…2 単位以上

教養科目…10 単位以上

■ 結論

◇ 上述の仮定に基づく試算では、学生が履修する時間割上の授業の数は課程全体で 2 つ増加する。

(設置を要する単位数を削減すれば、養成施設が時間割を設定する上で大きな異同はない。)

以上

【参考】「保育士養成課程の改正案」第4回検討会（2010.2.9）

	現行			改定案		
	系 列	教 科 目	履修単位数	系 列	教 科 目	履修単位数
教養科目		体育（講義） 体育（実技） その他	1 1 6		体育（講義） 体育（実技） その他	1 1 6
	教養科目 計		8以上	教養科目 計		8以上
必修科目	保育の本質・目的の理解に関する科目	社会福祉（講義）	2	保育の本質・目的に関する科目	保育原理（講義）	2
		社会福祉援助技術（演習）	2		教育原理（講義）	2
		児童福祉（講義）	2		児童家庭福祉（講義）	2
		保育原理（講義）	4		社会福祉（講義）	2
		養護原理（講義）	2		社会的養護（講義）	2
		教育原理（講義）	2		保育者論（講義）	2
	計	14	計	12		
保育の対象の理解に関する科目	発達心理学（講義）	2	保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学Ⅰ（講義）	2	
	教育心理学（講義）	2		保育の心理学Ⅱ（演習）	1	
	小児保健（講義・実習）	5		児童の保健Ⅰ（講義）	4	
	小児栄養（演習）	2		児童の保健Ⅱ（演習）	1	
	精神保健（講義）	2		児童の食と栄養（演習）	2	
	家族援助論（講義）	2		家庭支援論（講義）	2	
計	15	計	12			
保育の内容・方法の理解に関する科目	保育内容（演習）	6	保育の内容・方法に関する科目	保育課程論（講義）	2	
	乳児保育（演習）	2		保育内容総論（演習）	1	
	障害児保育（演習）	1		保育内容演習（演習）	5	
	養護内容（演習）	1		乳児保育（演習）	2	
				障がい児保育（演習）	2	
				社会的養護内容（演習）	1	
計	10	計	15			
基礎技能	基礎技能（演習）	4	保育の表現技術	保育表現技術（演習）	4	
保育実習	保育実習（実習）	5	保育実習	保育実習Ⅰ（実習） 保育実習指導Ⅰ（演習）	4 2	
総合演習	総合演習（演習）	2	総合演習	保育実践演習（演習）	2	
必修科目 計		50	必修科目 計		51	
選択必修科目	保育に関する科目 （上記の系列より科目設定）		8以上	保育に関する科目 （上記の系列より科目設定）		6以上
	保育実習Ⅱ又はⅢ（実習）		2	保育実習Ⅱ又はⅢ（実習） 保育実習指導Ⅱ又はⅢ（演習）		2 1
	選択必修科目 計		10以上	選択必修科目 計		9以上
合 計		68以上	合 計		68以上	